

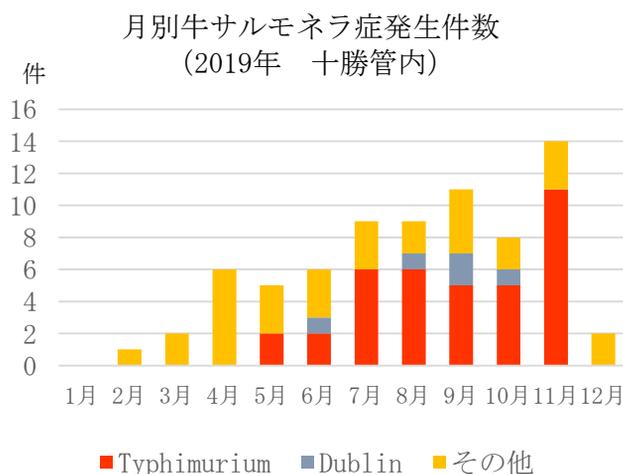
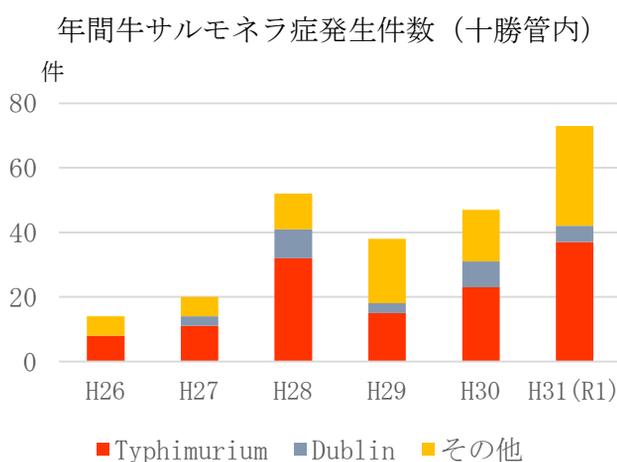
I 概論

I はじめに

十勝管内では、毎年、牛サルモネラ症が発生しています。牛サルモネラ症が発生すると、経済的に大きな損失が生じてしまいます。また、畜主に大きな精神的ストレスが生じてしまいます。

牛サルモネラ症の発生を防ぐため、サルモネラを農場に入れない・農場内で広げない・牛の免疫力を下げない飼養管理を行いましょう！

2 十勝管内の牛サルモネラ症発生状況



牛サルモネラ症の発生は年々増加しています
近年は届出以外（その他）の発生が増えています

夏～秋に多発しますが、春・冬も発生が見られます
寒くても対策を怠らないようにしましょう

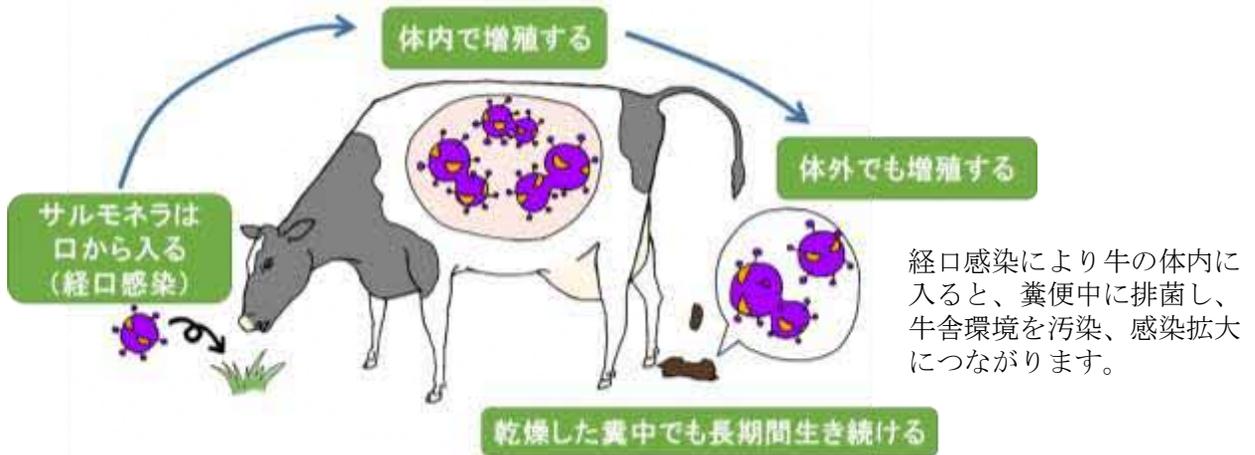
※ 牛サルモネラ症は着地検査による発覚が多いです
データ提供：十勝家畜保健衛生所

3 牛サルモネラ症による経済的損失

農場	A	B	C	
頭数規模	約40頭 (つなぎ)	約80頭 (つなぎ)	約680頭 (フリーストール)	
対策期間	約3ヶ月	約7ヶ月	約3ヶ月	
陽性牛淘汰頭数	4頭	3頭	154頭	
対策費	環境改善に要する経費	178,930 円	284,108 円	2,350,000 円
	治療費	97,240 円	866,700 円	3,000,000 円
	検査費	40,440 円	71,711 円	311,000 円
	自主淘汰	1,455,000 円	1,690,360 円	29,788,000 円
	生乳廃棄	154,176 円	698,815 円	2,705,000 円
計	1,925,786 円	3,611,694 円	38,154,000 円	

十勝管内で発生した牛サルモネラ症の経済損失です。思っている以上の損失であることが分かります。

4 サルモネラの侵入経路



5 罹患した牛の症状

菌種		牛の症状
届出伝染病	ティフィムリウム ダブリン エンテリティディス	食欲不振、発熱、下痢、流産
届出伝染病以外 (04群、07群、08群 など)		明らかな症状を示す場合が少ない

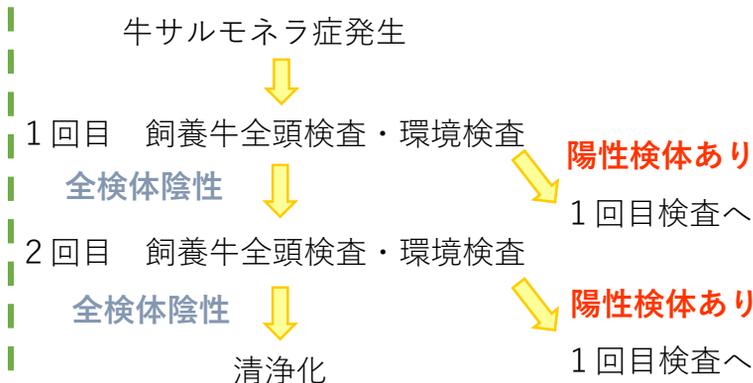
届出伝染病以外のサルモネラに感染した牛は明らかな症状を示す場合が少ないため、発見が難しいです。しかし、感染した牛は排菌しているため、知らない内にサルモネラが農場内にまん延している恐れがあります。

そのため、発生防止対策（侵入防止・拡散防止・飼養管理）を徹底し、サルモネラの感染を防ぎましょう。各対策の詳細は、次ページ以降に記載しています。

6 発生～清浄化までの道筋

牛サルモネラ症の発生が確認されたら、下記の防疫チャートに沿って清浄化活動を行います

【防疫チャート】



個体から採取した“全検体”が“2回連続”で“陰性”となることで清浄化となります